

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2014 年第 17 週
(4/21~4/27)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

- ◇ インフルエンザは先週より減少していますが、減少ペースは鈍くなっています。
- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が増加しています。→トピックス

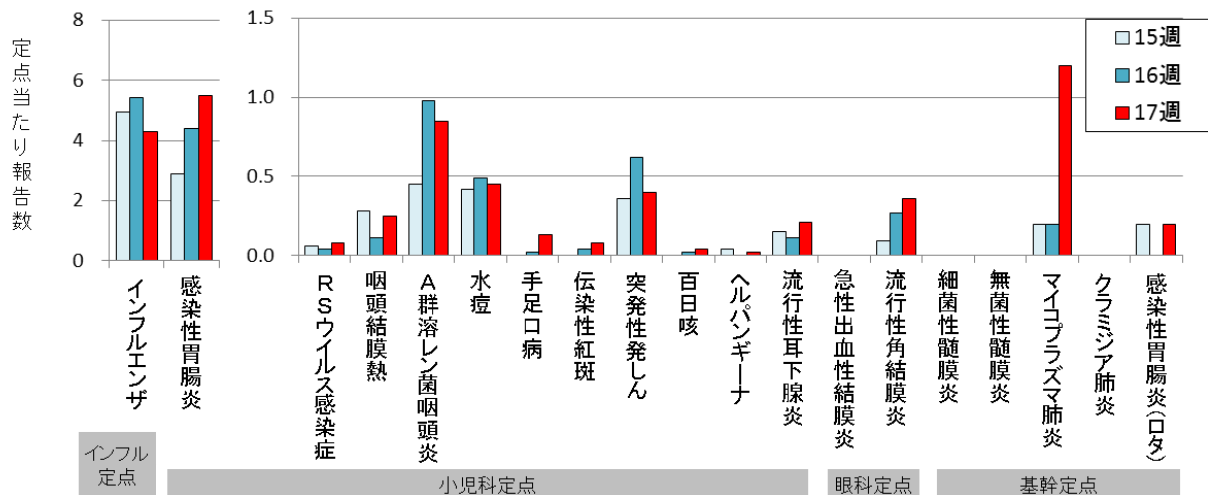
■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所名（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較

・ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎の報告数が増加しています。



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 8 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例（O157）
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例（AIDS）

● 2014 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	130 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5 例	
4 類感染症	E 型肝炎	3 例	マラリア 1 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症 5 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症 8 例
	急性脳炎	1 例	梅毒 1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	後天性免疫不全症候群	4 例	風しん 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	麻疹 2 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

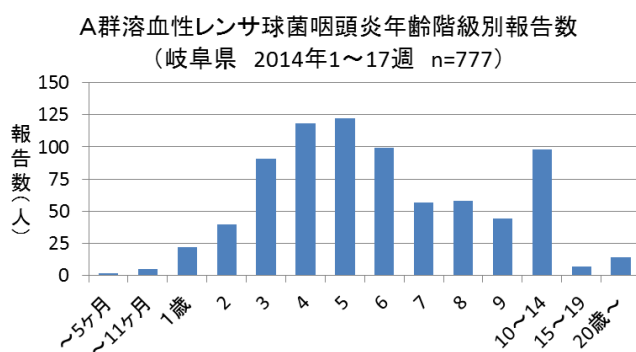
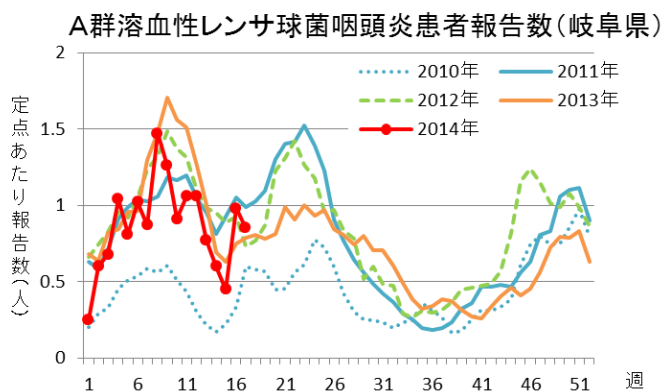
◆今後、患者数の増加が予想されます。

第17週の小児科定点からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の報告数は45人（定点あたり0.85人）と、先週（定点あたり0.98人）に引き続き多くなっています。例年、2～3月に流行した後、5～6月に再び流行していますので、今後の動向に注意が必要です。

◆保育所や幼稚園での感染に注意しましょう。

報告患者の年齢は3～6歳で多くなっていますので、保育所や幼稚園での感染に注意が必要です。

病気の原因となる菌は、患者の鼻水や唾液に排出され、菌の付いた手で鼻や口を触ったり（接触感染）、咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込んだりする（飛沫感染）ことで人から人へ広がります。手洗い・うがいを励行し、患者との濃厚な接触はできるだけ避けましょう。



★A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？

A群溶血性レンサ球菌の感染による発熱とどの痛みを特徴とする疾患です。2～5日の潜伏期の後、突然の発熱とどの痛みで発症し、嘔吐を伴うこともあります。また、菌の産生する毒素により、全身に赤い発疹が現れる「猩紅（しょうこう）熱」となる場合があります。治療には、抗生物質が有効ですので、早めの受診が大切です。

★感染症法における取扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouh-ou-kijun.html>（保健医療課 HP）

■届出基準・届出様式が一部改正されました

一部の届出対象疾患について、届出基準または届出様式が一部改正され、平成26年5月12日から適用されます。詳しくは岐阜県感染症情報センターHPでご確認ください。

（改正のある疾患）

急性灰白髄炎、ジフテリア、A型肝炎、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、侵襲性インフルエンザ菌感染症、先天性風しん症候群、梅毒、破傷風、風しん、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）、マイコプラズマ肺炎